

令和7年5月29日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
國 吉 雅 和 印

一般質問通告書

第545回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 慰霊の日6月23日は、沖縄県が制定し、沖縄戦の戦没者を追悼する日と定められている。また、村内各地で慰霊祭が開催され、沖縄戦の犠牲者を悼み平和を願う気持ちが共有される。 そこで、80年前の1945年4月1日読谷村の西海岸に米軍が上陸し、北飛行場を制圧するまでの状況(戦死者数等)と戦後の帰村から村の復興について説明を求める。	
2 ことし10月に予定されていたPFI事業の商業施設の開業が遅れる発表から約半年が経過しました。 (1) その後の進捗状況(現場着手、棟上げ、完成、開業)の予定を求める。また、当初計画と内容変更があれば説明を求める。 (2) 村内企業を中心に設立した特別目的会社(SPC)の「黄金環」について、株主数と資本金総額を設立時と現在で求める。	
3 第540回(令和6年12月)定例会一般質問で、ユンタンザむらおこし塾の塾生が立ち上げた事業である、(株)読谷ククルリゾート沖縄は、平成11年に設立され、体験王国むら咲むらを中心に体験型テーマパークとして多くの修学旅行生や観光客が訪れている。平成22年には、ホテルをオープンするなど年間約17万人余りが訪れる施設として本村の観光振興及び地域経済の活性化に寄与している答弁でした。 (1) 平成22年に(株)読谷ククルリゾート沖縄が宿泊施設の建設にあたり、ふるさと融資制度(無利子の長期資金の貸付制度)を活用しており本年度が償還金の最終年度である。償還金総額と償還年数を求める。また、建設費総額を求める。	

質 問 要 旨	答弁を求める者
(2) 読谷村交流体験海の家建設費総額及び国・県・村の負担額を求める。	
4 第3次読谷村観光振興計画(令和4年度～令和13年度)について (1) 振興計画の概要版によると基本的方針及び今後10年間で取り組むべき施策の情報発信。プロモーションの強化として、県内外の観光協会やDMOと連携した広域での情報発信とある。また、観光振興の実現に向けた推進体制の強化として、読谷版DMOの設置の検討とある。どのように検討しているのか求める。 (2) 第3次読谷村観光振興計画で表現されているDMOの位置付けについての見解を求める。	
5 沖縄県内自治体首長選挙の実態について (1) 11市長選挙は全て投票による選挙である。さて、30町村の町村長選挙の状況(投票選挙か無投票選挙)と中部6町村は自治体ごとに状況を求める。 (2) 1988年の読谷村長選挙と直近の村長選挙について、有権者数・投票数・投票率・得票数をそれぞれ求める。 (3) 投票選挙と無投票選挙についての見解を求める。	